

令和5年度青梅市国民健康保険事業 の結果について

令和6年度第1回青梅市国民健康保険運営協議会資料

◎ 国民健康保険特別会計決算の状況

1. 令和5年度国民健康保険特別会計の決算状況

令和5年度、国民健康保険特別会計の決算額について、歳入は前年度より4,463万5,000円減の142億8,886万2,784円となりました。また、歳出については前年度より708万968円増の142億1,610万5,306円となりました。

歳入と歳出の差引額7,275万7,478円については、令和6年度へ繰越しとなります。

この繰越金は、令和5年度に交付された東京都等の負担金等について、令和6年度に実績報告を行い、それに伴う返還金等に充てられます。

歳入歳出決算額前年度比較

(単位：円)

年 度	歳入決算額	歳出決算額	差引額
令和5年度	14,288,862,784	14,216,105,306	72,757,478
令和4年度	14,333,497,793	14,209,024,338	124,473,455
増 減	△ 44,635,009	7,080,968	△ 51,715,977

2. 繰入金（財源補てん分）の状況

国民健康保険の財政の安定化を図るため、一般会計から19億6,436万1,632円（前年度比12.3%増）の繰入れを行い、このうち財源補てん分は、11億1,910万2,063円（前年度比24.8%増）となりました。

一般会計繰入金前年度比較

年 度	一般会計繰入金	(再掲) 法定繰入金	(再掲) 財源補てん繰入金
令和5年度	1,964,361,632	845,259,569	1,119,102,063
令和4年度	1,748,677,021	851,982,021	896,695,000
増 減	215,684,611	△ 6,722,452	222,407,063

3. 国保会計歳入・歳出内訳（令和5・令和4年度増減比較）

3ページから4ページ

◎ 国民健康保険特別会計歳入の状況

・歳入の状況

決算額は142億8,886万2,784円となり、前年度比では0.3%の減となりました。

歳入の多くを占める都支出金が2,069万1,582円の増となった一方、国民健康保険税は1億8,360万272円の減となりました。

歳入	令和5年度			令和4年度			決算額前年度比較	
	予算額 ①	決算額 ②	収納率 ②/①	予算額 ③	決算額 ④	収納率 ④/③	増減額 ②-④=⑤	増減率 ⑤/④
	円	円	%	円	円	%	円	%
国民健康保険税	2,473,569,000	2,452,541,560	99.1	2,694,387,000	2,636,141,832	97.8	△ 183,600,272	△ 7.0
国庫支出金	1,025,000	1,098,000	107.1	4,923,000	4,360,000	88.6	△ 3,262,000	△ 74.8
療養給付費等交付金	1,000	0	0.0	1,000	0	0.0	0	-
都支出金	10,117,929,000	9,721,259,677	96.1	10,273,337,000	9,700,568,095	94.4	20,691,582	0.2
繰入金	2,057,133,000	1,964,361,632	95.5	1,756,479,000	1,748,677,021	99.6	215,684,611	12.3
繰越金	124,474,000	124,473,455	100.0	220,312,000	220,312,093	100.0	△ 95,838,638	△ 43.5
諸収入	22,008,000	25,128,460	114.2	23,009,000	23,438,752	101.9	1,689,708	7.2
合計	14,796,139,000	14,288,862,784	96.6	14,972,448,000	14,333,497,793	95.7	△ 44,635,009	△ 0.3

◎ 国民健康保険特別会計歳出の状況

・歳出の状況

決算額は142億1,610万5,306円となり、前年度比では横ばいとなりました。

また、歳出の多くを占める保険給付費は、被保険者数1人当たりの医療費の増加により、4,026万6,710円の増となりました。

歳 出	令和5年度			令和4年度			決算額前年度比較	
	予 算 額 ①	決 算 額 ②	執行率 ②/①	予 算 額 ③	決 算 額 ④	執行率 ④/③	増 減 額 ②-④=⑤	増減率 ⑤/④
	円	円	%	円	円	%	円	%
総 務 費	205,977,000	195,851,876	95.1	197,317,000	187,104,013	94.8	8,747,863	4.7
保 険 給 付 費	10,019,885,000	9,481,032,466	94.6	10,167,623,000	9,440,765,756	92.9	40,266,710	0.4
国民健康保険事業費 納 付 金	4,225,715,000	4,225,711,518	100.0	4,165,406,000	4,163,597,924	100.0	62,113,594	1.5
財政安定化基金拠出金	1,000	0	0.0	1,000	0	0.0	0	-
共 同 事 業 拠 出 金	3,000	390	13.0	3,000	193	6.4	197	102.1
保 健 事 業 費	201,180,000	178,494,858	88.7	197,239,000	179,819,645	91.2	△ 1,324,787	△ 0.7
公 債 費	21,000	0	0.0	21,000	0	0.0	0	-
諸 支 出 金	135,749,000	135,014,198	99.5	238,075,000	237,736,807	99.9	△ 102,722,609	△ 43.2
予 備 費	7,608,000	0	0.0	6,763,000	0	0.0	0	-
合 計	14,796,139,000	14,216,105,306	96.1	14,972,448,000	14,209,024,338	94.9	7,080,968	0.0

◎ 国保世帯数および被保険者等の状況

令和5年度の国民健康保険加入の状況は、前年度と比較すると、世帯数では656世帯の減（△3.3%）、市世帯数に対する国保世帯数の割合は29.4%となりました。

また、被保険者数は1,380人の減（△4.7%）となり、人口に対する加入者の割合は、21.5%となりました。

一般被保険者の内訳では、特に前期高齢者（65～74歳）が893人減少し、被保険者全体に占める割合は前年度と比較して0.9%の減となりました。

◎ 青梅市世帯数と国保加入世帯数の状況 (単位：世帯)

年度	青梅市世帯数 (年度末現在)	国保世帯数（年度平均）			加入割合
		一般	退職	合計	
2年度	64,034	20,509	0	20,509	32.0%
3年度	64,386	20,422	0	20,422	31.7%
4年度	64,789	19,867	0	19,867	30.7%
5年度	65,352	19,211	0	19,211	29.4%
増減 (5-4)	563	△ 656	0	△ 656	—

◎ 青梅市人口と国保被保険者数の状況 (単位：人)

年度	青梅市人口 (年度末現在)	国保被保険者数（年度平均）			加入割合
		一般	退職	合計	
2年度	131,661	31,084	0	31,084 (外628)	23.6%
3年度	130,762	30,544	0	30,544 (外605)	23.4%
4年度	129,918	29,183	0	29,183 (外612)	22.5%
5年度	129,178	27,803	0	27,803 (外690)	21.5%
増減 (5-4)	△ 740	△ 1,380	0	△ 1,380	—

◎ 国保被保険者数の内訳 (単位：人)

年度	被保険者全体	被保険者数					高齢受給者証対象者 (70～74歳)		被保険者全体に占める割合		
		一般被保険者	退職被保険者			一般 (2割負担)	現役並み所得者 (3割負担)	一般被保険者	退職被保険者	(再掲) 前期高齢者	
			(再掲) 未就学児	(再掲) 就学児～64歳	(再掲)前期高齢者 65～74歳						
2年度	31,084	31,084	619	16,022	14,443	0	7,640	686	100.0%	0.0%	46.5%
3年度	30,544	30,544	552	15,546	14,446	0	8,042	695	100.0%	0.0%	47.3%
4年度	29,183	29,183	502	15,028	13,653	0	7,751	716	100.0%	0.0%	46.8%
5年度	27,803	27,803	479	14,564	12,760	0	7,259	671	100.0%	0.0%	45.9%
増減 (5-4)	△ 1,380	△ 1,380	△ 23	△ 464	△ 893	0	△ 492	△ 45	—	—	—

※ 国保世帯数および被保険者数は、4月～3月の平均

◎ 国民健康保険税の状況

令和5年度は、国民健康保険税の税率等の改定は行いませんでしたが、課税限度額のうち、支援金分を2万円引き上げ、介護分を含めて合計104万円となりました。

収納率では、滞納早期からの文書催告や、滞納者の実情に応じた差押えを含めた滞納整理を行いました。現年度分は前年度から1.1ポイント減の92.3%、滞納繰越分は前年度から5.4ポイント減の23.7%、全体では3.9ポイント減の84.4%となりました。

加入者数の減少や加入者の所得が伸びないことなどから、全体としての調定額・収入額ともに減少することとなりました。

◎ 税率等

区分		5年度	4年度	増減
所得割	医療分	6.00%	6.00%	0.00%
	支援金分	1.95%	1.95%	0.00%
	介護分	1.85%	1.85%	0.00%
均等割	医療分	30,600円	30,600円	0円
	支援金分	11,200円	11,200円	0円
	介護分	12,200円	12,200円	0円
課税限度額	医療分	65万円	65万円	0万円
	支援金分	22万円	20万円	2万円
	介護分	17万円	17万円	0万円

◎ 1世帯当たり、被保険者1人当たり課税額 (単位：円)

年度	区分	平均	最高	最低	一人当たり
4年度	医療分	94,295	650,000	9,100	64,121
	支援金分	31,797	200,000	3,300	21,602
	介護分	27,087	170,000	3,600	24,665
	合計	137,569	1,020,000	16,000	93,548
5年度	医療分	91,372	650,000	9,100	63,056
	支援金分	31,020	220,000	3,300	21,407
	介護分	26,557	170,000	3,600	24,082
	合計	133,671	1,040,000	16,000	92,246
合計の増減(5-4)		△ 3,898	20,000	0	△ 1,302

◎ 保険税収納状況

区分	現年分			滞納繰越分			全体		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
2年度	2,715,296,400	2,558,512,853	94.2%	255,512,898	94,348,086	36.9%	2,970,809,298	2,652,860,939	89.3%
3年度	2,638,666,700	2,490,298,208	94.4%	243,747,917	85,358,196	35.0%	2,882,414,617	2,575,656,404	89.4%
4年度	2,743,677,400	2,561,960,267	93.4%	236,348,184	68,688,365	29.1%	2,980,025,584	2,630,648,632	88.3%
5年度	2,568,675,600	2,370,280,460	92.3%	330,940,330	78,270,335	23.7%	2,899,615,930	2,448,550,795	84.4%
増減(5-4)	△ 175,001,800	△ 191,679,807	△ 1.1%	94,592,146	9,581,970	△ 5.4%	△ 80,409,654	△ 182,097,837	△ 3.9%

※ 収入額は還付未済額を除いたもの。

◎ 医療費等の状況（療養諸費）

療養諸費の動向

令和5年度の療養諸費費用額は、主に団塊世代の後期高齢者医療制度への移行および令和4年10月実施の被用者保険適用拡大に伴う被保険者数の減少により、4,902万5,036円、0.4%減の109億4,668万9,570円となりました。

また、保険者負担額につきましても4,910万8,328円、0.6%減の80億4,363万6,131円となりました。

なお、一人当たり医療費（一人当たり費用額）は、17,682円増加し39万2,594円となりました。

（次ページのグラフは、年度別療養諸費の一人当たり費用額および被保険者数の推移）

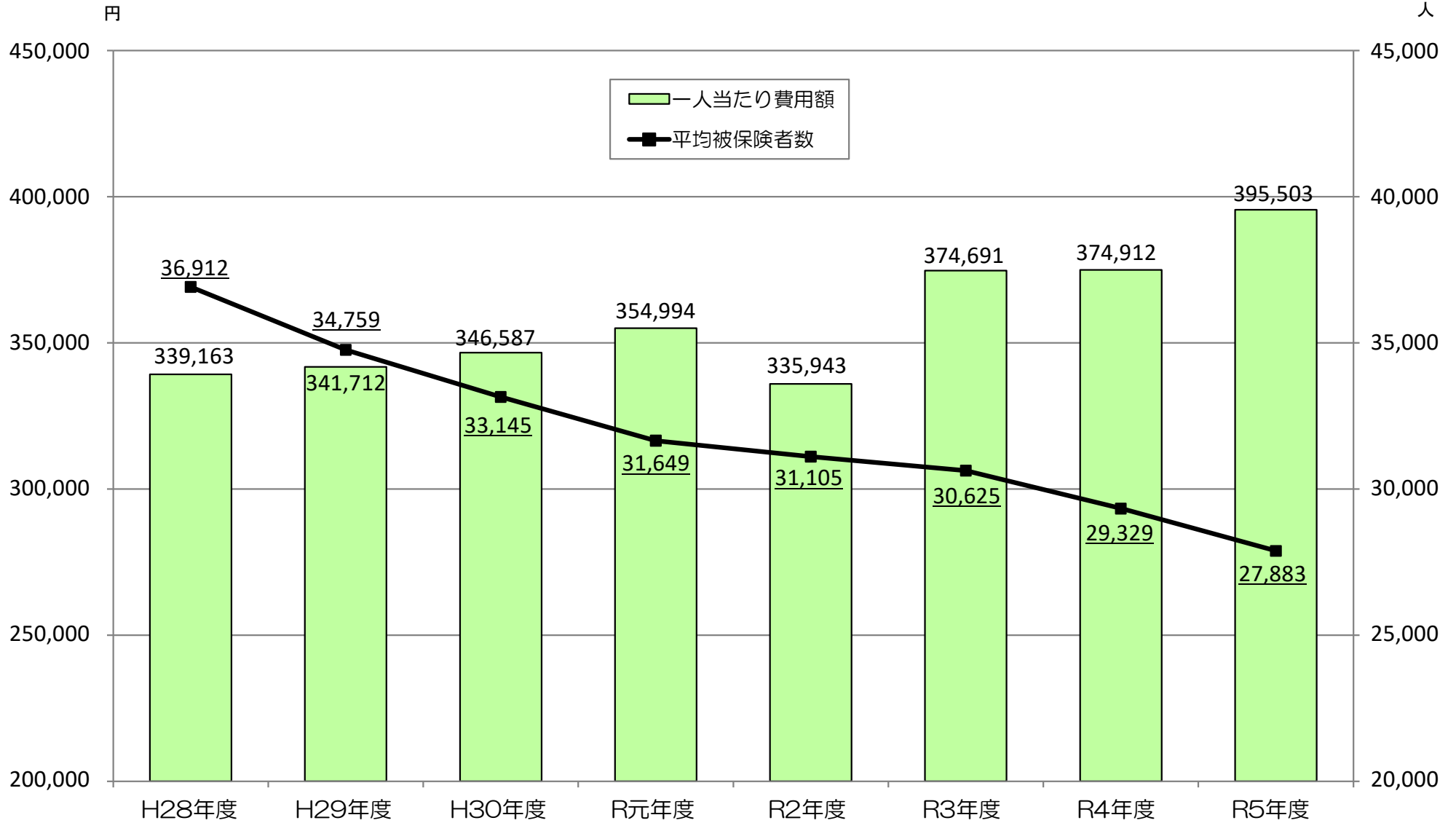
費用額に対する保険者負担割合は、加入者の高齢者割合などにより毎年変化しています。

令和2年度 73.3% 令和3年度 73.6% 令和4年度 73.6% 令和5年度 73.5%

年 度	区 分	被保険者数	費 用 額	保険者負担額	一人当たり医療費	保険者負担割合
		① 人	② 円	③ 円	②/① 円	③/② %
2年度	一般	31,105	10,449,539,407	7,661,049,166	335,944	73.3
	退職	0	△ 38,500	△ 26,950	—	70.0
	合計	31,105	10,449,500,907	7,661,022,216	335,943	73.3
3年度	一般	30,625	11,474,902,566	8,443,765,388	374,691	73.6
	退職	0	18,290	12,803	—	70.0
	合計	30,625	11,474,920,856	8,443,778,191	374,691	73.6
4年度	一般	29,329	10,995,714,606	8,092,744,459	374,912	73.6
	退職	0	△ 18,290	△ 12,803	—	70.0
	合計	29,329	10,995,696,316	8,092,731,656	374,912	73.6
5年度	一般	27,883	10,946,689,570	8,043,636,131	392,594	73.5
	退職	0	0	0	—	—
	合計	27,883	10,946,689,570	8,043,636,131	392,594	73.5
増 減 (5-4)	一般	△ 1,446	△ 49,025,036	△ 49,108,328	17,682	—
	退職	0	18,290	12,803	—	—
	合計	△ 1,446	△ 49,006,746	△ 49,095,525	17,682	—

※ 被保険者数、費用額、保険者負担額は、3月～2月の12か月分の平均

療養諸費の一人当たり費用額および被保険者数の推移



※ 被保険者数・・・年度平均

◎ 医療費等の状況（高額療養費・その他保険給付費）

高額療養費・その他保険給付費の状況

令和5年度の高額療養費の支給状況は、前年度より439件（2.1%）の減となり、支給額は3,638万2,963円（3.0%）の減となりました。

出産育児一時金は、件数2件、支給額71万7,950円の増となりました。葬祭費は、件数42件、支給額210万円の減となりました。

結核・精神給付金は、件数155件の増、支給額は31万7,257円の減となりました。傷病手当金は、件数88件、支給額387万5,660円の増となりました。

◎ 高額療養費、出産、葬祭費、結核・精神医療給付金の状況

（単位：件、円）

年 度	高額療養費		出産育児一時金 （※1）		葬 祭 費 （※2）		結核・精神給付金		傷病手当金	
	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額
2年度	19,703	1,159,900,768	74	30,709,870	183	9,150,000	11,739	12,363,622	8	678,963
3年度	21,362	1,273,605,550	62	25,576,400	225	11,250,000	12,335	12,785,488	17	1,107,087
4年度	21,232	1,235,813,292	64	26,294,350	183	9,150,000	12,490	12,468,231	105	4,982,747
5年度	20,793	1,272,196,255	53	25,182,745	211	10,550,000	12,387	12,281,611	4	241,855
増 減 (5-4)	△ 439	36,382,963	△ 11	△ 1,111,605	28	1,400,000	△ 103	△ 186,620	△ 101	△ 4,740,892

※1 出産育児一時金支給額 1件：50万円（4年度までは42万円）

※2 葬祭費支給額 1件：5万円

◎ 特定健康診査等の状況

1. 特定健康診査

実施方法および実施状況 (単位：件、人、%)

年度	受診券発行数	受診者数	受診率
令和4	23,799	11,613	48.8
令和5	22,623	11,067	48.9
増減 (令和4-令和5)	△1,176	△546	0.1

ア 個別健康診査

実施期間	委託機関	受診者数
6月1日 ～12月9日	(一社)青梅市医師会に委託し、 市内の39医療機関で実施	10,429人

イ 集団健康診査

上記受診券発行者のうち、42歳から64歳までの過去2年間未受診者4,305人を対象に、集団健康診査の案内通知を送付し、申込者に対して集団健診を実施した。

日程	委託機関	会場	受診者数
1月14日(日)	医療法人社団予防会	健康センター	51人
1月28日(日)			52人
計			103人

ウ 人間ドック受診料助成事業利用者結果提出者
人間ドック受診料助成金交付事業利用者のうち特定健診結果として登録をした方

対象受診日	受付け方法	提出者
4月1日～3月31日	指定医療機関から結果提出	507人

エ 他健康診査結果提出者

自費で受診した人間ドックや職場健診等の健診結果を提出した方

対象受診日	受付け方法	提出者
4月1日～3月31日	窓口または郵送	28人

2. 特定保健指導

実施方法および実施状況

実施期間：4月1日から3月31日まで
委託機関：(有)ハイライフサポート

ア 個別面談

(単位：人、%)

年度	区分	対象者数	利用者数	利用率
令和4	動機付け支援	924	※207	22.4
	積極的支援	301	55	18.3
	計	1,225	262	21.4
令和5	動機付け支援	841	※200	23.8
	積極的支援	288	46	16.0
	計	1,129	246	21.8

※Web面談、3人を含む

イ 指導内容

委託機関 (有) ハイライフサポート (単位：回、人)

内 容	会 場	回数	参加者数
お腹すっきり体操教室	健康 センター	3	66
体幹ウォーキング教室		2	34
楽々ストレッチ教室		3	80
栄養セミナー		1	9
歯科セミナー		1	11
合 計		10	200

ウ 令和4年度継続支援

委託機関 (有) ハイライフサポート (単位：回、人)

内 容	会 場	回数	参加者数
お腹すっきり体操教室	健康 センター	3	62
筋力向上体操教室		2	40
楽々ストレッチ教室		2	38
合 計		7	140

個別面談

(単位：人、%)

区 分	対象者数	利用者数	終了者数	終了率
動機付け支援	924	207	194	21.0
積極的支援	301	55	46	15.3
計	1,225	262	240	19.6

3. 受診率向上の取組

ア 特定健康診査受診勧奨通知（健康年齢通知）

内 容：対象者に健診を受診することで健康年齢を示した通知を送る旨を通知し、特定健診の継続的な受診を促す。

対 象 者：年度45～74歳となる方で、過去5年間の受診状況が不定期である1,948人

周知方法：対象者へ個別通知（受診勧奨を含む）を送付

委託機関：(株)エヌ・ティ・ティ・データ

健康年齢通知送付者（健診受診者）：1,012人

イ 健診結果の活かし方講座

対 象 者：国民健康保険、東京都後期高齢者医療制度に加入している方

周知方法：広報おうめ、青梅市ホームページへの掲載、行政メールでの配信、健診実施医療機関等でのポスター掲示

申し込み方法：電話

講 師：市管理栄養士

日 程	内 容	会 場	人数
10月11日	特定健診結果を活かした健康づくりについて、健診結果の見方、栄養と運動の説明を行い継続的な健診の受診を促す。	健康 センター	11人
1月22日			8人
計			19人

◎ 医療費通知事業・データヘルス事業

1. 医療費通知事業（委託）

実施日	対象期間	通知人数
11月13日	令和4年11月～令和5年6月受診分	17,949人
2月9日	令和5年7月～令和5年10月受診分	16,119人
合計		34,068人

通知対象 国保被保険者（受診者）全員
通知作成委託先 東京都国民健康保険団体連合会

2. データヘルス事業

（1）後発医薬品差額通知（委託）

実施方法および実施状況

- ア 実施期間 6月から3月まで毎月通知
- イ 実施機関 (株)エヌ・ティ・ティ・データ
- ウ 通知結果 延4,871人
- エ 令和5年度末普及率（数量ベース） 84.80%

（2）治療中断者受診勧奨事業

実施方法および実施状況

過去の診療報酬明細書をもとに、生活習慣病の治療を中断されていると思われる方に、受診勧奨通知を送付。
対象者 68人 受診者 28人 未受診者 40人

（3）糖尿病性腎症重症化予防事業（委託）

実施方法および実施状況

- ア 保健指導
専門職による食事や運動の指導プログラムを通じて、生活習慣の改善を促す保健指導を面談および電話支援で実施。
対象者 170人 応募者2人 最終面談実施者2人
- イ フォローアップ
平成30年度・令和元年度・令和2年度・令和3年度の保健指導修了者に対して、指導終了後の健康管理状況を確認し、生活習慣の改善を促す指導を電話支援で実施。
対象者 18人 実施者 7人

（4）多剤投与対象者勧奨事業

実施方法および実施状況

複数の医療機関から14日以上の内服薬が10種類以上処方されている被保険者に対して勧奨通知を送付。
通知対象者 32人 調査対象者 28人
医療品種類数改善者数 17人 改善率 60.7%

(5) 講演会

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、糖尿病予防および脳梗塞予防について3年ぶりに実施。なお、慢性腎臓病予防については、パンフレットを対象者に個別通知した。

ア 慢性腎臓病（CKD）再検査通知の送付

令和5年度特定健診の結果、eGFR50未満または尿タンパク+以上の949人（腎臓病治療中の方除く）

イ 糖尿病予防講演会

令和5年5月に、令和4年度特定健診の結果HbA1cの値が6.2%~6.4%で令和4年度74歳以下の333人（服薬中および資格喪失者を除く）に講演会に代わるパンフレットの送付を実施した。さらに、令和5年度の特定健診受診者でHbA1cの値が6.2%~6.4%で、74歳以下の397人（服薬中および資格喪失者を除く）に対しては、講演会を周知した。

実施日等	内 容	参加者
3月25日 (会場) 健康センター	「糖尿病にならないために、なってしまったら」 講 師 大堀医院副院長 大堀 哲也 氏	28人
	「糖尿病を予防するための食事について」 講 師 市管理栄養士	

ウ 脳梗塞予防講演会

令和5年度の特定健診を受診し、既往歴等に不整脈、心電図検査で「心房細動（A f）」と所見があった109人に対し、個別通知を送付し、また広報で周知した。

実施日	内 容	参加者
3月22日 (会場) 市役所	「え？不整脈から脳梗塞になるの？」 講 師 市立青梅総合医療センター 院長 大友 建一郎 氏	98人

◎ 青梅市人間ドック受診料助成事業の状況

1 概要について

- (1) 助成内容 青梅市国民健康保険の被保険者が下記の5医療機関で受診した人間ドックの費用のうち、2万円を助成（1年度に1回を限度とする）
- (2) 助成対象者 青梅市国民健康保険の被保険者で、受診時の年齢が30歳以上の者
- (3) 事業開始日 平成31年4月1日

2 令和4年度の交付状況について

(単位：人)

医療機関名	助成券交付者数（前年度）	受診者数（前年度）
新町クリニック	458（464）	449（457）
あきる台病院健診センター	32（23）	32（23）
公立福生病院	60（32）	53（32）
公立阿伎留医療センター	0（1）	0（1）
日の出ヶ丘病院健診センター	20（16）	20（15）
合 計	570（536）	554（528）
前年度との比較（増減）	34	26